

【第2回検討委員会における各委員の意見】

資料 1

区 分	意 見
1 行政機能・シビックコア	<ul style="list-style-type: none"> ○法務局や税務署、社会保険福祉事務局等の併設 ○医療機関との複合化 ○清水区のまちづくりについて総合的に担う市の組織の設置（戦略本部） ○清水港の振興、港を中心とした地域活性化を行う経済部門の設置
2 まちづくり・立地	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の安心・安全のランドマークとなる機能（防災をテーマとしたもの） ○まちづくりを担う若者の活動支援や育成ができる施設 ○大学・学校と連携ができる施設 ○市民団体も利用できる会議室（会議、ワークショップ、イベントなど団体活動に利用できる多目的会議室） ○若者、学生が活動に利用できる場所（実験的なプロジェクトなどに活用できる会議室、シェアオフィス、セミナー会場） ○街中への庁舎機能の配置 ○人口や観光客が減少していく中で、活気をつくることを目指すのであれば、投資するエリアを絞る必要がある。（江尻地区、日の出地区） ○新清水駅と JR 清水駅とを結ぶエリアに誘導していくということを念頭に、何が必要な機能なのか、将来について戦略的に考えるべき。 ○清水駅付近に、可能な限り小さな行政機能、小さな庁舎で建設 ○清水区内全域に利便性の良い交通結節点への立地
3 観光	<ul style="list-style-type: none"> ○清水区の観光資源を活かした施設（エスパルス・ちびまる子ちゃん・富士山ビュー、駿河湾、クルーズ船） ○周辺施設と一体利用のできる駐車場機能 ○駐車場の閉庁日の開放（観光用駐車場としての利用、大型バス駐車場としての利用） ○清水の情報を発信する観光案内所（清水駅西側の既設の案内所を移設し、I C Tを活用して情報発信機能を強化、音声ガイドによる外国語対応） ○観光サービスのハブ機能（情報のハブ、楽しく待てる場所の提供、観光客等の滞留時間を延ばす機能など）→清水駅東口にあるべき ○外国人観光客に情報提供できる機能 ○清水エスパルスの情報提供ができる機能 ○2階フロアに観光機能を集約（駅から日の出地区まで誘導できる機能） ○レンタル自転車の窓口、フリーW i - F iの機能、夜間の営業などができる民活フロアの設置
4 防災	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の危険性のあるところに安全に暮らすためには、市街地を更新すべき。 ○災害時の緊急避難場所、避難所としての機能 ○災害に強い庁舎（安心・安全の確保できる庁舎） ○周辺地域の防災性を向上させる機能
5 庁舎規模・構造等	<ul style="list-style-type: none"> ○フルスペックではなく、コンパクトで防災、市民サービス、まちづくりに特化した庁舎 ○小さく、機能の充実した庁舎 ○現状に対応しながら、未来を見据えた規模、機能 ○緑の感じられる庁舎、木材をふんだんに使ったぬくもりが感じられる庁舎、木製オープンデッキなどの設置
6 将来への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用し、今後の変化（高齢化など）を予測した機能を導入 ○先進的な考え方を取り入れた未来志向の庁舎 ○まちの変革期に良い刺激をあたえる「まちづくりの起爆剤」 ○環境負荷の少ない先進的な環境配慮型庁舎（水素燃料電池の使用による温暖化対策） ○人口減少対策としての機能（交流人口の増、まちの活性化、観光客の増加につながる機能） ○人口減対策としてのテレワーク導入企業の支援、オープンイノベーションの場としての機能 ○民間と共有する庁舎として、半官半民で建設し、民主導で運営
7 市民サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○清水区のまちづくりに関してワンストップで行える機能 ○手続きが分かりやすい窓口、ワンストップサービスの窓口 ○外国人居住者が相談できる窓口 ○高校生や大学生の市内企業就職相談のできる窓口 ○待合へのキッズスペースの設置、多目的トイレの充実（設置数の増、男女子供用トイレや授乳スペースの併設） ○分かりやすい案内表示（必要な場所へすぐに行ける、外国人にも分かりやすい） ○ライブラリー機能

